

備品管理操作手順書

Ver 1.1
2019/4/24

概要

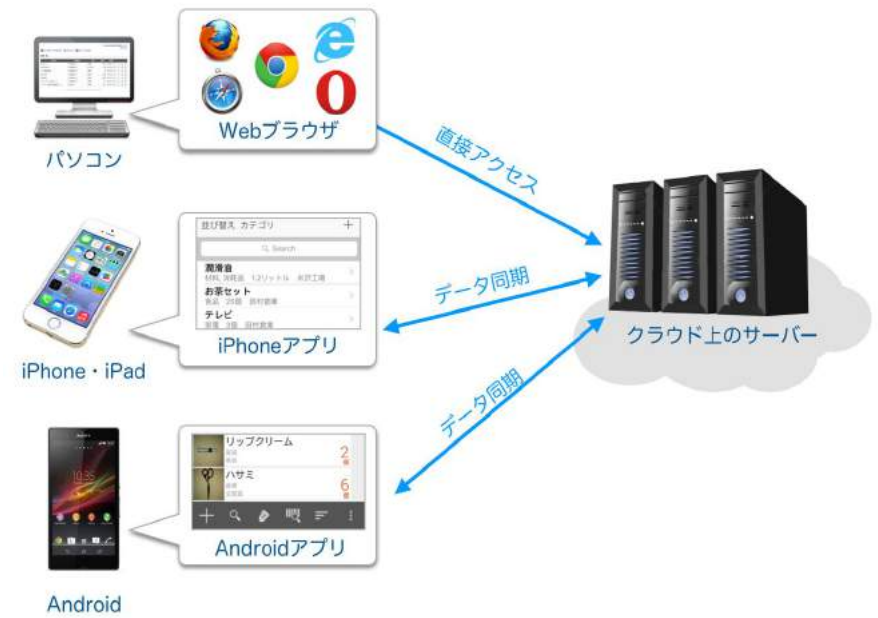
この手順書はクラウド在庫管理ソフト「zaico」による備品管理の方法を解説しています。zaicoはパソコン、iPhone/iPad、Android用のアプリがあり、それぞれから同じ備品データにアクセスし、データを更新することができます。この手順書では主に iPhoneアプリでの運用を中心に解説します。

尚、zaicoではQRコードの作成もできますが、この手順書では QRコードがすでに準備された前提で構成されています。QRコードの作成方法はzaicoのWebサイトのヘルプページをご覧ください。

目次

1. 備品データを登録する
2. 備品データを検索する
3. QRコードから備品データを照会する
4. 備品の保管場所を変更する
5. 備品の状態を変更する
6. 備品データと一括登録とダウンロード

ZAICO



※アプリによっては「zaico」または「スマート在庫管理」と画面上の表示が異なっている場合がありますが、同じソフトです。(今後「zaico」に名称を統一していく予定です)

初期設定(保管場所の登録)

1. Webアプリ版zaico (<https://web.zaico.co.jp/>)にアクセスし、指定されたメールアドレスとパスワードを入力してログインボタンをクリックしてログインします。



2. 上部にあるメニューから「データ管理」にマウスカーソルをあわせると「保管場所」が表示されますので、そこをクリックして保管場所の管理画面に移動します。



3. 保管場所一覧画面の上部にある「新しい保管場所を追加」をクリックします。



4. 保管場所名を入力して「登録」ボタンをクリックします。



5. 保管場所の登録が完了すると保管場所一覧に表示されます。

登録した保管場所を削除したい場合は赤い削除ボタンをクリックすると削除できます。

備品データを登録する(前編)



ZAICOのアカウントを入力し、ログインしてください

メールアドレス (ユーザID)

パスワード

ログイン

2. メニューの「新規作成」をタップし、備品データ登録画面に移動します。



1. iPhoneアプリ版zaicoを起動し、指定されたメールアドレスとパスワードを入力してログインボタンをタップしてログインします。



キャンセル 保存

物品名
自動核酸抽出装置

保管場所
201号室

カテゴリ

状態

保管場所を選択する場合はここをタップ

3. 備品データ登録画面が表示されたら、空白の欄をタップして物品名などの各情報を登録していきます。

保管場所は初期設定で登録した場所を選択して入力することもできます。



また画面を下にスクロールしていくと写真を登録する箇所があります。「写真を撮る」ボタンをタップするとカメラが起動して管理対象の備品の写真を撮影することができます。

備品データを登録する(後編)



4. 備品データ登録画面の最下部に「QRコード・バーコードの値」を登録する箇所があります。この箇所の「カメラで読み取る」をタップしてカメラを起動します。



5. カメラが起動したら備品に貼り付けられている、または貼り付ける予定のQRコードをカメラにかざして読み取ります。画面中央の赤線付近にQRコードを撮すとスムーズに読み取れます。



6. QRコードが読み取りが完了すると備品データ登録画面のQRコード・バーコードの値に読み取ったQRコードに格納されている値が表示されます。

7. 最後に備品データ登録画面の右上の「保存」ボタンをタップすることで、備品データが保存されます。



備品データを検索する



1. iPhoneアプリを起動し、画面下部の「在庫一覧」をタップします。

2. 在庫一覧画面の「検索」欄をタップし、検索した備品の物品名を入力します。



3. 検索欄に文字を入力すると該当する備品データが表示されますので、そのデータをタップすると、その備品データの詳細画面に移動できます。



また、在庫一覧画面の右上の歯車ボタンをタップすると検索する対象の項目や一覧中に表示する項目が設定できます。

QRコードから備品データを照会する



1. iPhoneアプリを起動し、メニューの「スキャン」をタップします。QRコードを読み取るカメラが起動します。

2. 備品等に貼り付けられているQRコードをカメラにかざして読み取ります。画面中央の赤線付近にQRコードを撮るとスムーズに読み取れます。



3. QRコードが読み取りが完了し、QRコードに格納されている値と一致する「QRコード・バーコードの値」を持つ備品データが登録されていれば、「ピコン」という音となり、その備品データ詳細画面表示されます。

備品の保管場所を変更する



1. iPhoneアプリを起動し、メニューの「スキャン」をタップします。QRコードを読み取るカメラが起動します。



2. 別ページある「QRコードから備品データを照会する」と同様に操作して移動対象の備品のQRコード読み取り、備品データ詳細画面に移動します。

備品データ詳細画面に移動したら、右上の「編集」ボタンをタップします。



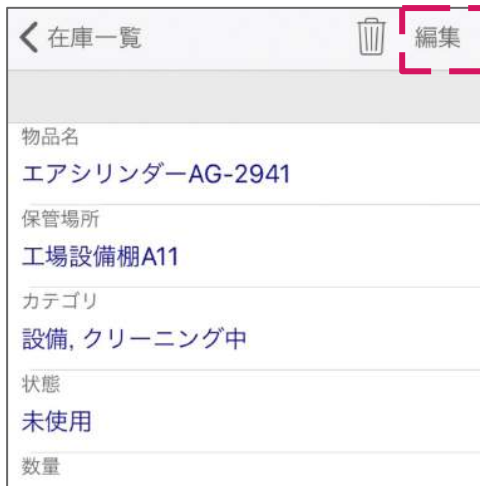
3. 「編集」ボタンをタップすると備品データを編集できるようになります。この状態で、保管場所の選択ボタンをタップし、下に表示する保管場所の選択肢をスクロールして選択します。もし選択肢に適切な内容がなければ、保管場所の入力欄をタップすることで直接入力もできます。

保管場所の入力が完了したら画面右上の「保存」ボタンをタップして操作完了です。

備品の状態を変更する(修理に出す場合など)



1. iPhoneアプリを起動し、メニューの「スキャン」をタップします。QRコードを読み取るカメラが起動します。



2. 別ページある「QRコードから備品データを照会する」と同様に操作して移動対象の備品のQRコード読み取り、備品データ詳細画面に移動します。

備品データ詳細画面に移動したら、右上の「編集」ボタンをタップします。



3. 「編集」ボタンをタップすると備品データを編集できるようになります。この状態で、「状態」の入力欄(「状態」と書かれた見出しの少し下の部分)をタップし、「修理中」や「使用禁止」など備品の状態を入力します。

状態の入力が完了したら画面右上の「保存」ボタンをタップして操作完了です。

備品データの一括登録とダウンロード(前編)

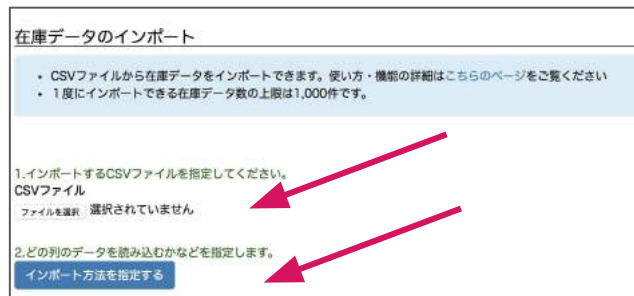
<データの一括登録>

zaicoではデータの一括登録機能があります。例えば基幹システムから備品データをCSVファイルに吐きだし、zaico内の一括登録する事も可能です。

1. zaicoのWebアプリ版zaicoにログインし、メニューの「ツール」から「インポート」を選択します。



2. インポート画面が表示されるので、CSVファイルを指定し、「インポート方法を指定する」ボタンを押せば次の画面に移ります。



3. インポート方法の指定



アップロードしたファイルの最初の3行のデータが表示されます。

- ・各列に記載された各データを在庫データのどの項目に取り込むか、各列の「在庫データ項目名」を選択してください。
- ・一部の項目のみインポートしたい場合は選択肢のうちの最初の空白を選択してください。

「インポートの内容を確認する」ボタンをクリックしてください。

備品データの一括登録とダウンロード(後編)

4. インポート内容の確認と実行

画面にインポートする内容(ファイルの内容は3行だけ表示されます)が表示されます。内容に問題がなければ「インポート実行」をクリックしてください。インポートが実行されます。

在庫データ項目名	物品名	カテゴリ	保管場所	状態	数量	単位	発注点
アップロードしたCSVファイルのデータ (1~3行目のみ表示)	みかん	果物	倉庫	出荷待ち	100	個	20
	メロン	果物#高級品	倉庫	出荷待ち	11	個	
	こけもも	果物	倉庫	出荷待ち	70	パレット	100

<データのダウンロード>

zaicoではデータのダウンロード機能があります。例えば、棚卸後にzaicoから備品データをCSVファイルとしてダウンロードし、基幹システムに戻すといったことが可能です。

1. Webアプリ版zaico(スマート在庫管理)にログインし、以下の図のようにメニューから「ツール」→「エクスポート」を選択し、エクスポート機能の画面を開きます。



2. エクスポート機能の画面の「CSVをダウンロード」をクリックすると、在庫データが一覧になったCSVファイルのダウンロードが開始されます。



きましては、チェックボックスにチェックを入れることで棚卸日や発注点もエクスポートいただけます。